

施設長	看護師	栄養士	相談員	介護主任	記録者
					佐々木

会議名	大野和幸園 運営推進会議
開催年月日	令和2年 11月 24日 (火)
会議参加者名	町会長 様 青森市おおの地域包括支援センター 様 オンブズマン 様 入居者家族 様 経営参与 施設長 介護主任 生活相談員
議題	1. 入居状況            2. 状況報告 3. 入居申し込み状況   4. 行事について 5. 参加者様より            6. 次回運営推進会議予定
<p>1. 入居状況</p> <p>○長期入居</p> <p>&lt;10月&gt;</p> <p>10/31付 在籍29名。 入退去:0名。 入院:0日 稼働率100% 平均介護度4.2</p> <p>&lt;11月&gt;</p> <p>11/23付 在籍29名 入退居:0名 入院日数:12日 (要介護4・女性:肺炎) 稼働率98.6% 平均介護度4.2</p> <p>○短期入所</p> <p>&lt;10月&gt;</p> <p>1日平均利用者数 9.8人 利用実人員13名(女性11名、男性2名)</p> <p>&lt;11月&gt;</p> <p>1日平均利用者数 8.6人 利用実人員12名(女性11名、男性1名) →入居待ち利用者2名:11/5、11/18 体調不良にて入院・SS退所</p> <p>2. 状況報告</p> <p>・令和2年6/8～、和幸園独自の条件付きで面会実施も、今年度はインフルエンザ流行期と新型コロナの2重の感染症の重篤化を防止する為、11/23～完全面会中止を実施。 ご家族・関係者の皆様には先日「お知らせ」を送付し、協力依頼済。状況に応じ、早期解除に向けていく。 ※隠れコロナ・隠れインフル＝ダブル感染</p> <p>・利用者様のインフルエンザワクチン接種:入院していた1名様・強い意向の為未接種の方1名 職員は今月中に終了予定。</p>	

・避難訓練

火災（夜間想定）・水害に対する避難訓練（垂直移動）実施。（写真参照）

・リハビリ関係

大野では看護師が兼務でリハビリ実施。

法人のリハビリチームの一員として大野の看護師も参加し、毎月会議を実施。

1回/月、OT2名来園し、訓練内容・ポジショニング・移乗動作等のアドバイス受けている。

・調理部門より

法人全体の同一メニュー・職員のユーティリティ化の一環、又コスト削減対策として、食材・調味料等を同一業者に移行中。

矢田・大野調理員間での実習も実施。自事業所だけではなく、全体の業務を把握して、取り入れたい。

見直しが必要な業務内容等、時短・コスト削減しても美味しい食事を提供できるよう取り組んでいる。

月1回位のペースで「パン食の日」を設定。（ご飯・お粥・パンからの選択食）

4種類のパンから2種類迄選べる形式。普段、お粥等を摂取されている方も職員見守りの下提供。「おかわり」の声も聞かれ、撰ぶ楽しさも感じて頂いた。（写真参照）

副菜もパンに合うようなメニューにした。

・喀痰吸引等の実習

今年度1名実施中。4名の利用者様のご協力有り。

・各種園外研修

一時期、感染症予防を実践の中、開催出来ていたが、弘前を始めとした新型コロナの「クラスター」発生以降、中止の連絡が相次いで来ている。参加できなかつた職員に関しては、来年度優先的に参加。スキルアップに努める。

・ノーリフティングケアへの取り組み

チームを作り活動予定。働き方改革の一環としても有効で腰痛予防対策になる。ロボット等の導入の前に、「必要性」の理解や、「出来る事」から進めて行く。

・法人イベント

11/7（土）調理コンテスト（W1グランプリ）開催

「調理員に光を」を目的に発足。後に、他職員参加もOKになった。

10チームの参加があり、和幸園発祥の地「浅虫」の軽費老人ホーム・食堂ホールで軽費利用者（60名）理事長他、理事・参加職員等で審査という流れで開催。

食材は、本部・矢田の畑でじゃが芋・さつま芋を栽培・収穫している実績から、じゃが芋・さつま芋に限定し、1～2口大程度のもの100食分準備。

大野調理チームもチーム名「Olive」として出品名「おいもパフェ」を参加。見事、準グランプリに輝いた。（写真参照）

3. 入所申し込み状況

新規入居申込者 9月：2名 10月：5名 計 7名

申込待機者 73名 ※適宜、整理

4. 行事について

<9月・10月・11月> 行事報告

・9/3 感染症研修会

・9/7 ひだまりの会

・9/14 和幸保育園交流会

・9/17 敬老祝賀会

・9/24 にじの会

- ・10/3 オンブズマン合同会議   ・10/5 ひだまりの会
- ・10/22 にじの会                   ・10/27、29、30 紅葉ドライブ
- ・11/5 ひだまりの会   ・11/6 夜間想定避難訓練   ・11/7 W1 グランプリ
- ・11/9 水害対策避難訓練

<12月> 行事予定

- ・12/3 ひだまりの会   ・12/17 にじの会   ・12/24 クリスマス会   ・12/28 御用納め

5. 出席者より

○町会長様より

- ・南高校前のローソンのT字路に信号機設置の要望書を出す準備をしている。町内には事前に回覧板で意見を聴取する予定。引き続き冬期間の運転は特に気を付けて欲しい。
- ・雪像フェスタについて、3密回避可能な為、開催予定。
- ・大野地域まちづくり協議会では市からの助成を受け農業体験をやっている。今年は泉川保育園、若芽保育園と一緒に収穫を行った。他にも、ほたるの見学会や餅つき大会など活動を実施。又、今年の防災体験（市主催）は大野小学校のグラウンドで救助犬やAEDの体験も行った。

○おおの包括支援センター様より

- ・コロナ禍における制限がある中、季節ごとにイベントを工夫し、入居者に楽しくメリハリある生活を提供できていると感じた。又、調理コンテストでは、職員のやる気を出させるというような取り組みに関心を持った。
- ・包括の活動として、少しずつ縁側事業をやっていたが、弘前のクラスター以降、法人の方針で地域へ出ることは控えている。その分、総合相談の件数は増えている。長い自粛で身体が弱り、介護保険申請したいという方、気持ちが落ちて施設に入りたいという方など、10月11月は、相談の内容が変わってきており、地域住民の方々の不安が大きくなっているのを肌で感じている。引き続き、包括でできることを検討していきたい。

○オンブズマン様より

- ・退院してきた利用者の検温は、他利用者比べて回数は多いのですか？  
→全利用者を対象に、毎日、朝・夕検温を実施しています。
- ・（水害の避難訓練）垂直移動に使用する担架について、1機より2機あった方がよいのではないかと検討させていただきます。
- ・紅葉狩りドライブも積極的に実施しているようだが、どのように人員を確保しているのか？  
→運転手は介護主任や相談員、他添乗として、看護師やパートなどの協力も得ながら実施している。コロナ禍の中ですが、できることはやっていきたいという想いです。

○入居者様ご家族様より

- ・施設サービス計画書や栄養ケア計画書、リハビリ計画書の中に、利用者の生活状況が具体的に細かく書かれている。コロナ禍という状況で、部屋にも入れず、スタッフとも話せない中、家族はこの計画書で情報を得ており、いつも安心している。まだしばらく続くでしょうから、これからも丁寧に書いて頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。

○経営参与より

- ・まちづくり協議会について、地元にある施設を多いに活用してもらいたい。今年度は中止が多いが、大野和幸園に声を掛けてもらって、職員も一員として参加させたいと思っているので、どうぞ声を掛けて下さい。
- ・和幸園の包括でも、今月もカフェを計画して案内を出したが、実施できず。来て頂いた方に対し、玄関先で準備したお菓子を配りながら断っているという実情。12月も案内は出したが、出来るだけ開催できるよう、その時の状況を見ながら実施の有無を判断していく。
- ・コロナ対策として、入所施設では特に職員が気をつけていかなければいけない。今月から完全面会中止となり、とくにかく外から持ち込まないことを徹底している。改めて自覚し取り組んでいきたい。
- ・八戸や弘前でもコロナが出ており、危機感を身近に感じている。  
当法人では、衛生・防災用品セットを県からの支給8セットと、当法人独自で準備しているもの2セット、合わせて10セット準備している。先日も、弘前の施設へ3セット提供し、国から3セット補充を受けたところである。頑張っがかからないように対策はしていくが、かかった時に対してすぐ対応できる体制をとっているということもお知らせしていきたい。

6. 次回運営推進会議予定 令和3年1月

以上